

## 【 10 款 教育費 】

### 1 学校教育

本市の教育分野においては、平戸市総合計画に定める基本目標や平戸市教育方針及び平戸市教育努力目標に基づき、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」の充実を掲げ、「生きる力」の育成を目指してきたところであり、平成 22 年 6 月には、現在の様々な教育的課題に対応すべく今後 5 年間のアクションプランとして、平戸市教育振興基本計画を策定した。

計画実現のため『高い志を持つづくり』を重点目標に「基礎学力の向上」「特別支援教育の充実」「主体的な読書活動の推進」「不登校対策の推進」「信頼され尊敬される教師づくり」の重点事項に取り組んだ。

第 1 に、教師の指導法の改善と指導力の向上を目指し、全ての小・中学校を訪問して指導にあたった。

第 2 に、研究指定による指導について平成 24 年度から 2 か年、中部中学校を県及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図る実践研究を行った。さらに、平成 25 年度から 2 年間、平戸小学校及び生月小学校を市教育委員会の研究指定校として、国語科と算数科の研究に取り組んでいるところである。

第 3 に、学力向上のための計画の作成と実践を行った。全ての小・中学校で「観別学力到達度診断テスト」を実施するとともに、平成 19 年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、全校がそれぞれに学力向上プランを作成し、指導法の改善を図り、学力の確実な定着を目指している。

第 4 に、外国語の向上を図る取組みを行った。児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、5 人の外国語指導助手を招致し、全ての小・中学校で指導を行った。

もう一つの柱は、「心の教育」の充実である。

第 1 に、道徳の指導に力を入れ、校長をはじめ、全職員による道徳教育の充実に努めた。道徳の指導方法の工夫・改善に取り組む一方、保護者や地域に対して道徳の授業を公開した。また、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」において命の尊さについて考える校長講話や公開授業を実施して、いのちを大切にすることを育むための指導を行った。

第 2 に、全ての小・中学校において、継続した取り組みとして日課表の中に読書の時間（「朝の読書」など）を設定し、全校一斉の読書活動を実施した。このことは子どもの情操教育に効果的であり、落ち着いた学習態度の定着など良い結果をもたらしている。

第 3 に、県派遣「スクールカウンセラー」を平戸小学校、平戸中学校、生月中学校、南部中学校及び田平中学校の 5 校に配置を行うとともに、平成 24 年度から「スクールソーシャルワーカー」を 1 人配置し、問題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけを行うほか、関係機関のネットワークの構築、連携・調整を行った。

また、適応指導教室「のぞみ」の活用を図り、不登校生徒 4 人の学校復帰に向けての指導を行った。

第 4 に、「特別支援教育」体制の更なる充実に向け、特別支援教育支援員を増員配置するとともに、研修会、講演会を開催し、個に応じた指導体制の基盤づくりを進めた。

その他、学びを支援する教育環境の整備として、学校施設の老朽化及び今後の児童生徒の推移等を総合的に判断しながら、施設整備計画を策定し、当面、平成 27 年度までに耐震化完了を目指した工事等を主に行っている。

平成 25 年度は、平戸小学校校舎耐震改修工事並びに市内 9 小学校の屋内運動場及び田助小学校校舎の耐震改修に伴う工事設計などを行い、環境整備に努めるとともに、学校施設や設備の軽微な修繕、危険箇所の安全点検や補修及び草木の伐採等には、速やかに対応できる体制を構築し、きめ細かな学校施設の改善に努めている。

情報環境整備については、日々進歩する技術革新を含む情報教育を取り巻く環境などを注視し、今後、機器操作及び情報モラル対策の推進などソフト事業と併せて、情報機器の整備など本市 ICT 教育ビジョンを策定する予定である。

#### (1) 奨学費

平戸市奨学金制度は、品行方正、学業成績が良好でありながら、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与し、教育の機会均等を図り、将来、社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、高校または大学等に修学する生徒・学生を対象に、高校 4 人、高専 3 人、大学 4 人の全体で 11 人（平成 25 年度新規貸付者：高校 1 人、大学 2 人）について、平戸市奨学資金貸付基金運営委員会の審査により決定し、奨学金の貸与を行った。

### (2) 小学校・中学校費

#### ○学校管理

学校教育の充実を目的として、児童生徒の健康対策及び保護者の負担軽減を図るなど、児童生徒が安心して学習できる教育環境の整備を行った。

施設の営繕等については、プールの濾過装置補修、校舎や体育館の屋根防水補修、空調機や消防設備の修繕、更には、教室のカーテン・暗幕の取替、黒板張替など施設の維持及びより安全な教育環境の整備を行った

#### ○教育振興

心の教育の充実及び児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館支援員を全ての小・中学校に配置し、読書環境の整備を図るとともに、読書の質の向上を掲げ、情操教育としての読書活動の推進を行った。

就学援助対策として、要保護及び準要保護並びに特別支援学級の児童生徒に対し、援助費及び奨励費の支給や、遠距離通学等をしている児童生徒に対し、補助金の支給を行った。また、適応指導教室「のぞみ」では、不登校生徒 4 人に対し、学校復帰を目指した指導を行い、学校行事や卒業式への参加や高校への進学など改善できた児童生徒がいた。更には、指導員が不登校生徒の家庭を訪問し、生徒及び保護者等が抱える悩みを聞いたり登校等を促すことにより、学校復帰への指導を行った。

#### ○学校建設

学校施設環境の整備については、校舎の増改築や大規模改修、耐震補強、屋内運動場を含む各施設の整備等、年次計画に基づき実施しているところであり、本年度は、先に示した耐震改修等のほか、度島小中学校校舎等屋上防水改修工事及び平戸中学校グラウンド整備工事を実施し、安全で安心な教育環境の整備を図った。

#### ○学校施設の耐震化率の推移 (各年度末)

施設名	平成 24 年度	平成 25 年度
小学校	75.0%	76.9%
中学校	100.0%	100.0%
計	84.0%	85.2%

### 2 幼児教育

幼児教育の充実と円滑な幼稚園運営を図るため、職員研修の実施、施設の維持補修及び備品の購入を行うなど幼児がのびのびと学べる環境の整備に努めた。

また、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、私立幼稚園の保護者に対し、保育料等を減免する私立幼稚園就園奨励費補助を行った。

保護者等のニーズを考慮し、幼稚園教育の質を確保しながら、7 月から預り保育を実施した。

## 【 10 款 教育費 】

### 3 社会教育

#### (1) 社会教育

平成 19 年 3 月に策定した平戸市生涯学習推進計画に基づき、市民自らの学習意欲を喚起し、学習した成果を生かした協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとして、市民自らが様々な分野から講師を招聘しての生涯学習講演会の開催をはじめ、生涯学習パスポートの表彰・生涯学習月間の啓発、ながさき県民大学主催講座の実施、市民編を前面に出した「まちづくり出前講座」の実施等、生涯学習の推進に取り組んだ。

長崎県の県民運動である「ココロねっこ運動」を推進する事業や学社融合事業等を実施し、学校と地域、家庭が一体となって青少年の健全育成に取り組む気運を高め、地域や家庭の教育力の向上を図った。また、少年センターでは、専門員や少年センター補導委員による補導活動や環境浄化活動を実施し、青少年の非行防止、保護育成に取り組んだ。

公民館事業については、市内 6 公民館を生涯学習の拠点施設として各種学級・講座等を実施し、市民のニーズや時代に即応した学習の場の提供を行った。また、地域の生涯学習の推進や住民相互の交流を図るうえで必要な地区公民館の修繕補修についても助成を行った。図書館事業については、利用者ニーズにあった資料の購入、読書感想発表大会や読み聞かせ等の読書推進事業、各種講座開催など読書に親しむ機会の提供を行った。

(仮称)総合情報センターの建設にかかる設計業務委託を行うとともに選書作業及び図書を購入を計画的に行い、平成 27 年度開館に向けた準備を行った。

#### (2) 文化財保護

平成 25 年 10 月 17 日に「棲霞園及び梅ヶ谷津借案園」が国指定名勝、平成 25 年 8 月 1 日に「沖楨介宅跡の大イヌマキ」が市指定天然記念物、平成 25 年 12 月 24 日に「永山家住宅主屋、隠居屋」が国登録文化財となった。

指定・選定文化財について、大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 3 件の修理補助、国指定有形文化財「田平天主堂」司祭館修理補助、県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」御成門の改修補助、県指定天然記念物「平戸戸石川のハルサザンカ」の保存整備補助、県指定天然記念物「海寺跡のハクモクレン」の保存修理を行い貴重な文化財の保存・保護に努めた。

平戸和蘭商館については、経年劣化による破損が著しい常灯の鼻修復のための整備委員会を開催するとともに、関連遺跡の横島の全体像解明のための発掘調査を継続して行った。

重要文化的景観保護について、適切な保存活用を図っていくため、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定区域内の便益施設整備として休憩施設 1 棟を設置したほか、建造物等の修理修景を行い、景観の向上を図った。

世界遺産登録推進について、世界遺産推薦書の平戸地区にかかる個所の修正作業や国や県と世界遺産構成資産の現地確認など推薦書や包括的保存管理計画の内容について協議を行い登録作業の推進を図った。

#### (3) 文化振興・文化施設

文化振興について、市美術展、文化協会加盟団体による文化まつりを実施し、文化活動団体への活動補助、全国大会出場者への補助を行うなど、市民の文化に対する意識の高揚と、芸術文化の振興に努めた。

また、ながさき音楽祭 2013 コンサート 5 カ所、ひらんコンサート 1 カ所、次代を担う子どもの文化芸術体験事業 6 カ所で開催し、質の高い芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

さらに、民俗芸能祭を開催することにより、平戸固有の伝統文化を市内外に周知・啓発するとともに、各保存会の意見交換・交流の場を設けることができた。

文化施設について、大島村ふるさと資料館、田平町里田原歴史民俗資料館、生月町博物館・島の館、平戸オランダ商館の施設の維持管理・運営・公開を行い、郷土の歴史や地域文化の紹介と情報発信、文化財の保存保護に対する周知と啓発を行った。里田原歴史民俗資料館では佐賀県吉野ヶ里管理センターと出土遺物

の交換展示を実施し、里田原遺跡を再認識してもらうことができた。島の館では企画展「キリシタン—海が伝えた信仰文化—」を開催するとともに、世界遺産の動きを見据え、企画展用のパネルを転用した、かくれキリシタンコーナーをリニューアルし、農業コーナーも牛のフィギュアを導入して展示替えを行った。

### 4 保健体育

#### (1) 保健体育・体育施設

スポーツ推進については、体育協会を中心としてスポーツ団体の育成と競技力の向上を図った。特に市民体育祭においては合同開会式を皮切りに各種競技の大会を開催し、県大会への出場予選を兼ねるとともに競技力向上と交流の場の提供に寄与することができた。また、各地区の体育振興会を中心に、健康まつりや町民運動会などを開催し、市民の融和と社会体育の底辺拡大、市民の健康増進を図るため、生涯スポーツの推進に努めた。

スポーツ推進基金を活用して、個人・団体等の九州大会以上の大会への参加費補助やスポーツ教室等の開催に助成を行い、更なる競技力の向上につなげることができた。また、スポーツを通じて青少年の健全育成を図るためスポーツ少年団へ支援を行った。

秋の風物詩として定着したスポーツイベント「第 7 回ひらどツアーウォーク 2013」は市内外からの参加者の健康増進とともに、観光地平戸を大きく PR し、地域の活性化に貢献することができた。

平成 26 年度長崎がんばらんば国体軟式野球の競技会場である平戸市総合運動公園ライフカントリー赤坂野球場と生月町勤労者体育センターを中心として各体育施設改修等を行い、施設の利便性と安全性の確保に努めた。

第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 10 日に第 3 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査（東京都）を行うことにより具体的な内容の把握ができ、平成 26 年度の本大会開催の業務遂行に大いに参考となった。また、関係機関団体等との連絡調整及び放送委員の実践研修を行い、大会開催へ万全を期すため準備を行った。本国体のリハーサル大会として、6 月 29 日から 3 日間「第 35 回西日本軟式野球大会 2 部」を開催し、8 月 25 日には、「第 52 回全国教職員相撲選手権大会」を開催し、本番を見据えた取組みを行い、改善点を見出し、本国体に備えた。大会の啓発活動として各種イベントでの着ぐるみ PR、フェイスブックの更新、ボランティアの募集、本大会のポスター及びスローガンの募集・決定を行った。

全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 10 日に第 3 回目の総会を開催するとともに、関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の県内外大会での実践研修を行い、8 月 2 日より 3 日間「相撲競技大会・第 91 回全国高等学校相撲選手権大会」を開催し、全国から 85 校 456 名の選手・監督・コーチを迎え入れ、盛大に大会を開催し、2 月 12 日に第 4 回総会（解散）を開催し、成功裡に終了することができた。

全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業については、年間を通して遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化が図られたものの、本市より出場選手を輩出することができなかったが、九州大会及び全国新人大大会出場や国体強化選手指定を受けるなど確実にレベルアップが図られた。

#### (2) 学校給食

安全安心でおいしい給食を児童生徒に提供するため、講習会等に参加し調理従事者の資質の向上を図った。また、「おにぎり給食」を 2 回実施し、主食である米の消費拡大と児童生徒の心身の健康保持増進に対する興味及び意欲の向上に努めた。

設備面では、経年劣化により業務に支障をきたしていた食缶類洗浄機（北部）及びスプーン洗浄機付侵漬装置（中南部）の大型厨房機器を更新し、他の給食調理場においても厨房用機械器具を更新し、作業の効率化が図られた。

施設面では、高圧受電装置、ボイラー配管、照明器具等の改修により、円滑な業務遂行のための環境整備がなされ、学校給食衛生管理基準の遵守が図られた。

事業名	事業内容	事業費																																																												
奨学資金貸付事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>経済的理由により修学困難と認められる品行方正、学業成績が良好である者に教育の機会均等を図り、将来の社会発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的に学資を貸与した。</p> <p>平戸市奨学資金貸付基金 平成 25 年度貸付状況 11 人 2,448 千円</p> <p>内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>高校</th> <th>高専</th> <th>専修</th> <th>短大</th> <th>大学</th> <th>計</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合 計</td> <td>4</td> <td>576</td> <td>3</td> <td>432</td> <td></td> <td>4 1,440 11 2,448</td> </tr> <tr> <td>うちH25新規</td> <td>1</td> <td>144</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2 720 3 864</td> </tr> </tbody> </table> <p>基金金額 単位：千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">前年度末</th> <th colspan="4">増減額</th> <th rowspan="2">本年度末</th> </tr> <tr> <th>貸付金</th> <th>返還額</th> <th>寄付金</th> <th>利子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現金</td> <td>80,563</td> <td>△ 2,448</td> <td>10,180</td> <td></td> <td>20</td> <td>88,315</td> </tr> <tr> <td>貸付金</td> <td>40,440</td> <td>2,448</td> <td>△ 10,180</td> <td></td> <td></td> <td>32,708</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>121,003</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>121,023</td> </tr> </tbody> </table>		高校	高専	専修	短大	大学	計	区 分	人	千円	人	千円	人	千円	合 計	4	576	3	432		4 1,440 11 2,448	うちH25新規	1	144				2 720 3 864	区分	前年度末	増減額				本年度末	貸付金	返還額	寄付金	利子	現金	80,563	△ 2,448	10,180		20	88,315	貸付金	40,440	2,448	△ 10,180			32,708	合 計	121,003	0	0	0	20	121,023	131
	高校	高専	専修	短大	大学	計																																																								
区 分	人	千円	人	千円	人	千円																																																								
合 計	4	576	3	432		4 1,440 11 2,448																																																								
うちH25新規	1	144				2 720 3 864																																																								
区分	前年度末	増減額				本年度末																																																								
		貸付金	返還額	寄付金	利子																																																									
現金	80,563	△ 2,448	10,180		20	88,315																																																								
貸付金	40,440	2,448	△ 10,180			32,708																																																								
合 計	121,003	0	0	0	20	121,023																																																								
スクールバス・ボート運行事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 304 頁】	<p>学校統廃合等による児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスの運行及びスクールボートの運航を行った。</p> <p>バス 中野小～古江、大瀬地区 15 人 中野小～主師、山野、白石地区 11 人 紐差小～獅子、高越、春日地区 19 人 紐差小～宝亀地区 21 人 紐差小～大川原、赤松、木ヶ津 4 地区 12 人 津吉小～早福地区 14 人 大島小・中～板ノ浦地区 12 人</p> <p>ボート 宮の浦港～高島港 4 人 乗船延べ人数 児童 1,019 人 一般 363 人</p>	22,384																																																												

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		20	111	修学困難とされる者に修学を促し、機会均等に教育環境を提供できるとともに家庭の経済的負担の軽減に寄与することができた。
	15,900	55	6,429	学校統廃合となった地区または公共交通機関が乏しい地域の児童生徒の安全な通学の確保ができた。 また、通学以外での市内各小中学校の学習活動（水泳指導、社会科見学等）への有効活用ができた。

事業名	事業内容	事業費
就学対策事業 (学校教育課) 【事項別明細書 304 頁】 【事項別明細書 310 頁】	<p>就学困難な児童生徒の保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施等を図るため、就学のために必要な学校用品等の整備及び支援等を行った。</p> <p>【負担金補助及び交付金】 3,589千円  遠距離等児童・生徒通学費補助金 3,194千円  遠距離等の児童生徒の保護者を対象  (1) 小学校(4 km以上) 24人 326千円  (2) 中学校(6 km以上) 67人 2,496千円  (3) 適応指導教室通級費 4人 251千円  (4) 特別支援教室等通級費 16人 121千円  児童・生徒通学費助成金 395千円  学校統廃合の条件として、生月町御崎地区及び古賀江地区の児童生徒の保護者を対象  (1) 小学校 5人 123千円  (2) 中学校 5人 272千円</p> <p>【扶助費】 19,669千円  要・準要保護児童生徒援助費 14,441千円  要保護及び準要保護児童生徒の保護者を対象  (1) 小学校 就学 114人 1,772千円  給食 114人 4,503千円  医療 37人 204千円  (2) 中学校 就学 90人 3,706千円  給食 90人 4,168千円  医療 15人 88千円  特別支援学級就学奨励費 5,228千円  特別支援学級に就学する児童生徒の保護者を対象  (1) 小学校 就学 31人 516千円  給食 31人 1,293千円  通学 15人 336千円  (2) 中学校 就学 20人 884千円  給食 20人 978千円  通学 16人 1,221千円</p>	23,258
図書教育充実事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 310 頁】 【事項別明細書 312 頁】	心の教育の充実のために、図書を購入整備し、学校図書館を充実させ、児童生徒の読書活動を推進した。	7,563

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
1,222			22,036	児童生徒の就学環境の改善とともに、保護者の負担軽減及び義務教育が円滑に実施できた。												
			7,563	<p>図書を購入整備することにより、健全な教養を育成する環境に寄与した。また、読書量が増えるとともに休日に図書を借りて帰るなど読書活動が定着、活発化している。</p> <p>○学校図書館標準冊数整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24.5.1</th> <th>H25.5.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>94.4%</td> <td>106.2%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>71.2%</td> <td>79.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>85.0%</td> <td>95.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H24.5.1	H25.5.1	小学校	94.4%	106.2%	中学校	71.2%	79.3%	計	85.0%	95.2%
	H24.5.1	H25.5.1														
小学校	94.4%	106.2%														
中学校	71.2%	79.3%														
計	85.0%	95.2%														

事業名	事業内容	事業費
学校図書館支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 312 頁】	市内小中学校図書館の活性化を図るため、学校図書館支援員を配置し、学校図書館の様々な取組みを支援した。 また、支援員リーダーを配置し、支援員の資質の向上を図った。 支援員リーダー 2人 拠点校：平戸小 支援校：平戸中 拠点校：津吉小 支援校：南部中 支援員小学校 2人 拠点校：中野小 支援校：田助小、中野中、大島小、大島中 拠点校：志々伎小 支援校：堤小、生月小、野子小中、中部中 支援員中学校 2人 拠点校：田平中 支援校：田平北小、田平南小、田平東小、度島小中 拠点校：生月中 支援校：根獅子小、紐差小、中津良小、山田小	5,788
情報教育環境整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 314 頁】	児童生徒の情報化時代に対応できる能力を養うとともに、効果的効率的な教育の推進を図るため、児童生徒及び教職員等用のパソコンの整備を行った。 児童用 37台(入替) 中津良小：5台 堤小：4台 生月小：14台 山田小：14台 生徒用 93台(入替) 中部中：8台 生月中：33台 田平中：40台 大島中：12台 教頭・養護教諭用 22台(入替)	12,090
特別支援教育支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 308 頁】 【事項別明細書 314 頁】 【事項別明細書 316 頁】	心身に障害のある児童生徒が、健常者と平等に楽しく学習が受けられる環境整備を図るため、特別支援教育支援員を配置し、個々の障害に応じた適切な教育の側面から支援を行った。 小学校 14人 (支援対象児童 168人) 中学校 5人 (支援対象生徒 52人)	17,855

財 源 内 訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
1,101		26	4,661	学校図書館環境が格段に良くなり、児童生徒が図書館を積極的に活用するようになり、読書に対する興味意欲の向上につながった。 また、平成 25 年度から、「主体的な読書活動の推進」を重点事項に掲げ、質の向上につながった。 ○児童生徒 1 人あたりの貸出冊数 <table border="1" data-bbox="1653 411 2107 528"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>169.0 冊</td> <td>161.2 冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>20.3 冊</td> <td>22.4 冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>110.6 冊</td> <td>108.5 冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成 24 年度	平成 25 年度	小学校	169.0 冊	161.2 冊	中学校	20.3 冊	22.4 冊	計	110.6 冊	108.5 冊
	平成 24 年度	平成 25 年度														
小学校	169.0 冊	161.2 冊														
中学校	20.3 冊	22.4 冊														
計	110.6 冊	108.5 冊														
			12,090	児童生徒の情報化時代に対応できる能力の養成と効果的効率的な教育環境に寄与した。												
	16,200	87	1,568	心身に障害のある児童生徒と健常者が平等に学習できる環境を整備したことで、心のふれあいや協調性などを学ぶことができた。												

事業名	事業内容	事業費
小学校屋内運動場耐震改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】	<p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けて取り組んでおり、平成 24 年度耐震診断の結果を受け、耐震改修が必要な屋内運動場について、設計委託を行った。</p> <p>平戸小学校 鉄骨造 2 階建 860 m<sup>2</sup> 平成 26 年度に繰越  田助小学校 鉄骨造平屋建 532 m<sup>2</sup> 1,659 千円  中野小学校 鉄骨造平屋建 532 m<sup>2</sup> 1,869 千円  中津良小学校 鉄骨造平屋建 532 m<sup>2</sup> 1,554 千円  生月小学校 鉄骨造 2 階建 1,073 m<sup>2</sup> 1,344 千円  山田小学校 鉄骨造 2 階建 839 m<sup>2</sup> 2,468 千円  田平北小学校 鉄骨造 2 階建 680 m<sup>2</sup> 2,545 千円  田平南小学校 鉄骨造 2 階建 484 m<sup>2</sup> 2,835 千円  田平東小学校 鉄骨造 2 階建 484 m<sup>2</sup> 2,232 千円</p>	16,506
学校施設整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】 【事項別明細書 316 頁】	<p>〈地域の元気臨時交付金事業〉  児童生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、地域の元気臨時交付金を活用し、度島小中学校の校舎及び屋内運動場の防水改修工事を行った。</p> <p>度島小中学校  校舎 鉄筋コンクリート造 2 階建 2,800 m<sup>2</sup>  屋内運動場 鉄筋コンクリート造 1 階建 830 m<sup>2</sup>  [小学校] 21,366 千円  [中学校] 28,035 千円</p>	49,401
田助小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】	<p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 40 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。</p> <p>鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 2,304 m<sup>2</sup>  平成 21 年度 耐震診断  平成 25 年度 耐震補強及び大規模改造設計</p>	7,455

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	12,400		4,106	耐震診断の結果、耐震性が無いことが確認された屋内運動場について、平成 26 年度及び平成 27 年度に実施する耐震補強及び大規模改造工事の準備ができた。
48,900			501	経年劣化による雨漏り箇所が改修され、安心・安全な教育環境を提供できた。
	4,400		3,055	耐震補強及び大規模改造工事（平成 26 年度に繰越）の準備ができた。

事業名	事業内容	事業費
平戸小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】</p> <p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 39 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を施工した。</p> <p>平成 21 年度 耐震診断 平成 24 年度 耐震補強及び大規模改造設計 平成 25 年度 耐震補強及び大規模改造工事</p> <p>【耐震補強工事】</p> <p>鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,692 m<sup>2</sup> 耐震補強ブレース 8 カ所 袖壁補強 8 カ所</p> <p>【大規模改造工事】</p> <p>校舎内部（天井、床、内装、建具類）、校舎外部（屋上防水、外壁塗装）、高圧受電設備の改修及び電気設備改修、浄化槽改修及び機械設備の改修工事</p>	280,225
平戸市算数・数学検定事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】	<p>検定の合格を目指し学力の向上及び家庭と連携し継続的に取り組むことで家庭学習の習慣化を図るため、平戸市中学校教育研究会を中心に検定を行った。(年 2 回開催)</p> <p>また、保護者への呼びかけを通して親子で計算に親しむ環境をつくり、今年度は 4 校で 11 人の希望者が受検を行った。</p> <p>更には、市内統一の問題集を新 1 年生に配布した。</p>	107
外国語指導助手招致事業 (学校教育課) 【事項別明細書 314 頁】	<p>児童生徒の英語力向上並びに国際感覚を高めるため、生きた英語に慣れ親しむことを目的に、外国語指導助手を招致し、全ての小中学校で指導を行った。</p> <p>A L T (Assistant Language Teacher) 5 人 国籍：オーストラリア (3 年目… 1 人、2 年目… 1 人、1 年目… 3 人)</p>	22,538
適応指導教室運営事業 (学校教育課) 【事項別明細書 314 頁】	<p>不登校児童生徒の学校復帰及び学校行事への参加促進並びに学習の援助を図るため、適応指導教室を設置している。併せて、指導員を配置し、通級者へ個別の指導や家庭訪問を行った。</p> <p>平成 25 年度 中学 3 年生 1 人 中学 2 年生 2 人 中学 1 年生 1 人</p>	3,604

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
71,761	208,400		64	耐震性と学校施設の機能確保により児童の安全性の確保及び健全な教育環境が整った。
			107	受験者の 7 割超が合格し合格証を授与することで、生徒の関心も高まり、学力の向上及び家庭学習が習慣化できた。
	6,700	87	15,751	児童生徒一人ひとりが意欲を持って学習に参加できており、英語力の向上並びに国際感覚が豊かになった。
		14	3,590	子どもたちの心のよりどころとして、効果的な学習指導及び精神的ケアが十分に機能したことにより、中学 3 年生が卒業式に参加し高校入試を受験、進学することができた。

事業名	事業内容	事業費
平戸中学校校舎増改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】	生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化により授業に支障をきたしている校舎について、5 カ年計画の増改築事業を策定し、改築工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置工事を実施した。 平成 21 年度 耐力度調査 平成 22 年度 地質調査、実施設計、プール解体工事 平成 23 年度 プール解体工事、本校舎建設工事 平成 24 年度 本校舎建設工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置 平成 25 年度 グラウンド整備工事 【本校舎建設工事】 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 3,930 ㎡	112,275
	【平成24年度繰越明許費】 グラウンド整備工事	4,465
幼稚園就園奨励事業 (学校教育課) 【事項別明細書 318 頁】	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減を図るため、私立幼稚園の保育料等を減額又は免除し、公立幼稚園との保護者負担の格差是正を行った。 私立幼稚園就園奨励費補助金 3 園 (79 人) 9,495 千円	10,335
放課後子ども教室推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 318 頁】	放課後等の子どもたちの安全で安心な活動拠点(居場所)を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために公民館及び田平東小学校で子ども教室を開催した。 子ども将棋教室 延べ開催日数・参加者 135 日 899 人 東っ子ふれあい教室 延べ開催日数・参加者 43 日 659 人	732
生涯学習推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 318 頁】 【事項別明細書 320 頁】	生涯学習を個人の生きがいや知識の習得のみならず、社会生活の様々な営みに関わる学習活動と位置づけ、市民の学習成果がまちづくりにつながる環境整備を推進するために講演会開催や生涯学習だより「まなぶ君」発行による啓発活動をすることで学ぶ意欲づくりを行った。また、生涯学習パスポート制度、生涯学習まちづくり表彰などを通じて市民の生涯学習を評価し、その成果を生かす機会を拡充した。  生涯学習講演会 3 回 出前講座開催回数 538 回 出前講座利用者 18,527 人 生涯学習だより「まなぶ君」発行 4 回 (14,500 部) 生涯学習推進会議 2 回 生涯学習視察研修 1 回 生涯学習パスポート奨励証 15 名 まちづくり表彰(個人 1、団体 2、地域 1) 4 件	2,100

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
20,200	81,800		10,275	生徒の安全性の確保及び健全な教育環境が整った。
728	3,300		437	
2,328			8,007	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担が軽減された。
488			244	地域の大人とのふれあいを通して、子どもの健やかな成長を促進するとともに、子どもの安全で安心な居場所を確保することができた。また、子ども将棋教室参加児童が県大会の優勝を経て、文部科学大臣杯第 9 回小学校将棋団体戦西日本大会に出場することができた。
			2,100	市民の多様な学習ニーズに対応できるように講演会開催については市民グループを委託先に選定し、「自ら学ぶ意欲づくり」の意識高揚やまちづくりのリーダーとなる人材育成につながった。 また、出前講座市民編は講師、受講者ともに学習の機会により、教える楽しさ、学ぶ楽しさを通して社会で実践できる生涯学習の基礎を形成できた。 さらに、生涯学習だより「まなぶ君」の発行による情報提供やまちづくり表彰などの評価体制を通して生涯学習の推進と生涯学習事業に対する意欲の向上につなげた。  生涯学習講演会(3 団体に委託) 参加者 610 人 出前講座市民編(利用団体 42 団体) 参加者 1,502 人 出前講座行政編(利用団体 496 団体) 参加者 17,025 人



事業名	事業内容	事業費																																
少年の主張大会開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	平戸市内の小中学生 26 名 (小学生 17 人、中学生 9 人) が参加し、それぞれ発表を行った。 開催日：平成 25 年 6 月 15 日 (土) 場 所：平戸文化センター 来場者：約 350 人	140																																
自治公民館整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】	地域における自治活動の促進と、地域文化の発展を図ることを目的に、地域コミュニティの拠点となる自治公民館の新築・改築・補修に要する事業費の補助を行った。 単位：千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>行政区</th> <th>整備事業費</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築</td> <td>紐差第 3</td> <td>14,644</td> <td>7,913</td> </tr> <tr> <td>改築</td> <td>高麗町</td> <td>565</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補修</td> <td>中の原</td> <td>1,197</td> <td>598</td> </tr> <tr> <td>油 水</td> <td>1,458</td> <td>729</td> </tr> <tr> <td>主 師</td> <td>962</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>上中津良</td> <td>677</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>向 月</td> <td>3,179</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7 件</td> <td>22,682</td> <td>12,015</td> </tr> </tbody> </table>	種別	行政区	整備事業費	補助額	新築	紐差第 3	14,644	7,913	改築	高麗町	565	150	補修	中の原	1,197	598	油 水	1,458	729	主 師	962	720	上中津良	677	405	向 月	3,179	1,500	計	7 件	22,682	12,015	12,015
種別	行政区	整備事業費	補助額																															
新築	紐差第 3	14,644	7,913																															
改築	高麗町	565	150																															
補修	中の原	1,197	598																															
	油 水	1,458	729																															
	主 師	962	720																															
	上中津良	677	405																															
向 月	3,179	1,500																																
計	7 件	22,682	12,015																															
公民館講座開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】 【事項別明細書 326 頁】	①公民館講座開催事業 2,333 千円 学習の場を市民に提供するため、各公民館において、女性、高齢者、成人、青年、少年等を対象に、各種事業講座、教室を開催した。また、スポーツ面においては、地域間の親睦と健康増進やスポーツの普及を図るため、軽スポーツ、新スポーツの教室を開催した。 主催講座数 延べ受講者数 北部公民館 11 講座 1,197 人 中部公民館 8 講座 1,124 人 南部公民館 11 講座 726 人 生月町中央公民館 6 講座 1,667 人 田平町中央公民館 12 講座 1,331 人 大島村公民館 3 講座 270 人 ②公民館大会開催事業 330 千円 『いのちのぬくもりを ともに生きよう 手をとりあって』を大会テーマとして、市民が集い公民館を拠点に命の大切さを育むため、平戸市公民館大会を開催した。 開催日：平成 26 年 3 月 2 日 (日) 場 所：平戸市多目的研修センター 講 演：金子 真介 氏 演 題：「～今をより豊かに生きるために～」 参加者：約 300 人	3,173																																

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			140	児童・生徒が日常生活のなかで、感じたことや思っていること、また未来や社会への提言や希望を発表することで、社会の一員であることを自覚し、社会に対する意識の向上や健全な心が育くまれた。
		2,989	9,026	地域住民のコミュニティの拠点としての運用が図られ、生涯学習活動の推進に寄与することができた。
			3,173	①市民の学習意欲の高揚と学習情報を発信できた。また、時代に即応した講座を開催し、市民のニーズにあった学習機会を提供することで、生涯学習への意識が高揚した。 ②急激な高度情報化の中で、地域の人間関係が希薄化する現状を変革し、地域間世代間の交流を深め、豊かな人間関係を作り上げるため、公民館を拠点にいのちの大切さを育み、ともに手を取り合って生きる地域づくりを考える機会となった。

事業名	事業内容	事業費
公民館講座開催事業（つづき） （生涯学習課） 【事項別明細書 324 頁】 【事項別明細書 326 頁】	<p>③北部公民館まつり開催事業 170 千円 地域住民の文化振興と生涯学習活動を推進するため、北部公民館に 関係する団体が一堂に集まり、日頃の学習成果の発表や作品の展 示を行った。</p> <p>参加者数 1,500 人 学習成果発表 12 団体 作品展示コーナー 8 団体</p> <p>④越南まつり開催事業（中部公民館） 170 千円 学びあう仲間が集い、発表と交流により親睦を深め、活動のより 一層の充実と生涯学習の推進及び明るく健康なひとづくり、まちづ くりを進めるため越南まつりを開催した。</p> <p>参加者数 1,100 人 学習成果発表 19 団体 作品展示コーナー 5 団体、個人 17 人</p> <p>⑤奥ひらど文化祭開催事業（南部公民館） 170 千円 日頃の学習成果を発表し、研鑽を深めるとともに仲間づくりや文 化の向上を目的に、奥ひらど文化祭を開催した。</p> <p>参加者数 766 人 学習成果発表 18 団体 作品展示コーナー 16 団体</p>	
図書購入事業 （生涯学習課） 【事項別明細書 326 頁】 【事項別明細書 328 頁】	<p>利用者のニーズにあった資料の提供を行うために、本をはじめとす る様々な資料を購入すると、図書館機能の充実を図るとともに、利 用者へのサービスの向上を図った。</p> <p>【購入冊数】</p> <p>平戸図書館 1,868 冊 永田記念図書館 1,931 冊 南部公民館図書室 449 冊 生月町中央公民館図書室 751 冊 田平町中央公民館図書室 602 冊 大島村公民館図書室 303 冊 計 5,904 冊</p>	8,880
（仮称）総合情報セ ンター開館準備事 業 （生涯学習課） 【事項別明細書 328 頁】	<p>（仮称）総合情報センターにおける新図書館開館準備に向け、選任の 職員を配置し、選書・購入事業を行った。</p> <p>図書購入費ほか [選書・購入事業（2カ年計画H25～H26）]</p>	58,155

財 源 内 訳				事業の成果																											
国県支出金	地方債	その他	一般財源																												
				<p>③関係団体相互の親睦と連携が深まり、地区住民への文化振興 と生涯学習の推進に貢献した。また、ふれあい広場では、も ちつき等の体験や出店などを通して、参加者や地域住民相互 の交流ができた。発表や展示では地区内の学習グループや公 民館関係者の学習成果を披露することを通して互いの研鑽 と親睦を深めるとともに地域住民への生涯学習の周知と推 進を図りつつ芸術文化に親しむ機会の提供を行うことがで きた。</p> <p>④地域住民の団体やサークルによる発表及び作品の展示を通 して、公民館利用団体や地域住民との親睦が深まり、公民館 活動の一層の充実が図られた。また、呈茶、実演・体験コー ナー、バザーコーナー、ちゃんこコーナーなどを通して、地 域住民の交流と世代間のふれあいの場を提供した。</p> <p>⑤学習グループや公民館関係団体の発表及び作品展示を通し て日頃学んだ生涯学習の成果を発表するとともにグループ 間の親睦交流や相互研鑽ができた。また、地域住民に対し、 芸術文化に親しむ機会を提供することができた。今回は 25 回目の節目の開催で、志々伎町に縁のある掛屋剛志さんのミ ニコンサートも取り入れ、より深みのある文化祭となった。</p>																											
		261	8,619	<p>図書システムを運用して利用頻度等を調査し、不足する資料 を把握したうえで、ニーズに合った図書資料の購入により、利 用促進につなげた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年間貸出冊数</th> <th>単位：冊</th> </tr> <tr> <th>場所</th> <th colspan="2">冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸図書館</td> <td colspan="2">40,835</td> </tr> <tr> <td>永田記念図書館</td> <td colspan="2">29,989</td> </tr> <tr> <td>南部公民館図書室</td> <td colspan="2">2,007</td> </tr> <tr> <td>生月町中央公民館図書室</td> <td colspan="2">11,959</td> </tr> <tr> <td>田平町中央公民館図書室</td> <td colspan="2">9,391</td> </tr> <tr> <td>大島村公民館図書室</td> <td colspan="2">694</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td colspan="2">94,875</td> </tr> </tbody> </table>	年間貸出冊数		単位：冊	場所	冊数		平戸図書館	40,835		永田記念図書館	29,989		南部公民館図書室	2,007		生月町中央公民館図書室	11,959		田平町中央公民館図書室	9,391		大島村公民館図書室	694		計	94,875	
年間貸出冊数		単位：冊																													
場所	冊数																														
平戸図書館	40,835																														
永田記念図書館	29,989																														
南部公民館図書室	2,007																														
生月町中央公民館図書室	11,959																														
田平町中央公民館図書室	9,391																														
大島村公民館図書室	694																														
計	94,875																														
43,849		9,819	4,487	<p>所蔵資料の整備が計画的に行われ、新図書館の開館に向けて 計画的に準備を行った。</p>																											

事業名	事業内容	事業費
(仮称)総合情報センター整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】 【事項別明細書 330 頁】	平戸市離島開発総合センターの老朽化に伴い、公民館・図書館機能を併せ持つ生涯学習の拠点施設として市民の文化活動や、自主的な学習活動を支援するため、平成27年開館を目指した(仮称)総合情報センターの設計業務に取り組むとともに、建築確認申請および建築物の構造計算適合性判定審査手続き等を行った。  平成24年度 建設地質調査業務 平成25年度 開発行為許可申請等	471
	【平成24年度繰越明許費】 設計業務委託1式 基本設計及び実施設計	55,500
「平戸学」推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】	個人から寄贈された中野焼を中心に県指定史跡中野窯跡の調査成果・出土遺物の成果として「中野焼展」を開催。また、その他歴史関連講座等を開催した。  中野焼展 場所 平戸オランダ商館 期間 平成25年6月15日～7月15日	295

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	471			建築確認申請、建築物の構造計算適合性判定審査、浄化槽置等の手続きをすすめ、開館に向けた建設の準備ができた。
20,631	33,100		1,769	設計業務委託を締結し、建設の準備ができた。
			295	「中野焼展」の開催により、本市の歴史の一端を広く紹介することができた。また、オランダ伝統ゲーム体験、出前講座等の各種講座を開催し、本市の豊かな歴史について学びの場を提供することで「平戸学」に対する興味や関心の向上につながった。  ・中野焼展 期間入館者数 3,456 人

事業名	事業内容	事業費
伝統的建造物群保存地区保存整備事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】	平戸市大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 3 棟の保存修理補助を行った。 ・伝統的建造物群保存修理事業 19,753 千円 ・その他(事務費) 101 千円	19,854
伝統的建造物群保存地区保存整備推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】	保存計画に基づき大島村神浦伝統的建造物群としての町並み保存整備推進を行った。保存地区内の未調査建築物などの学術調査及び、痕跡調査を実施し継続的に町家の修理・修景を推進した。 ・修理希望調査の実施 対象 184 人 ・学術・痕跡調査(4件)	746
指定文化財維持管理事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】 【事項別明細書 334 頁】	指定文化財の保存のため管理・整備・改修などを行った。 ・史跡維持管理事業 402 千円 ・保存整備補助事業(7件) 761 千円 ・保存管理補助事業(5件) 115 千円 ・ハクモクレン整備事業 274 千円 ・大島盆踊り開催委託 1,500 千円 ・無形民俗文化財団体運営費補助 1,330 千円 ・事務費 113 千円	4,495
埋蔵文化財発掘調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】	各種開発及び範囲確認に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、里田原遺跡出土の木製品の保存処理を行った。 ・発掘調査事業 2,170 千円 (坊田遺跡・トラベ川遺跡・伝外国人墓地跡・里城跡石塔群) ・出土遺物保存処理委託事業 829 千円	2,999
国指定重要文化財保存調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】	「田平天主堂」司祭館外壁が、経年劣化のため板材が腐食し、雨漏り等があることから取替、塗装等に対する補助を行った。	146

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
14,016			5,838	町家の修理については 20 年度から行い、徐々にではあるが、町家の保存に寄与することができた。 間接事業 20 年度 1 棟 21 年度 4 棟 22 年度 4 棟 23 年度 4 棟 24 年度 4 棟 25 年度 3 棟
			746	学術調査・痕跡調査により、調査未実施家屋の建築年代と当時の建築構造が解明された。 修理希望調査結果 25 年度修理希望件数 16 件、26 年度以降 4 件 学術調査結果 建築年代推定 明治時代後期 1 件 大正時代 1 棟
137			4,358	指定文化財の維持・管理や修理、伝承や後継者育成等に助成を行うことにより、所有者や管理者・保存会の負担を軽減し、貴重な文化財の保存・保護・継承を促し、指定文化財としてふさわしい体裁等の保全、伝承活動の活性につながった。
1,740			1,259	発掘調査により江戸時代の墓の形態を確認することができ、新たな資料を追加することができた。 里田原遺跡から出土していた、木製品を保存処理することにより、後世に伝えることができるようになった。
			146	補修補助を行ったことにより、国指定文化財としての構造・美観を保持することができた。

事業名	事業内容	事業費
重要文化的景観保護推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】	<p>国の重要文化的景観「平戸島の文化的景観」地域において、便益施設の設置や建造物の修理修景事業を実施した。</p> <p>また、文化的景観推進委員会を開催し、平成 26 年度の整備活用計画策定に向けた検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究、委員会開催 2,170 千円</li> <li>修理修景事業 18,680 千円</li> <li>飯良地区便益施設設置工事 4,222 千円</li> <li>春日地区道路整備工事 2,578 千円</li> <li>事務事業 250 千円</li> </ul>	27,900
県指定文化財保存整備事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】 【事項別明細書 336 頁】	<p>県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」の御成門の改修事業、県指定天然記念物「戸石川のハルサザンカ」の樹勢回復に対する補助を行った。</p> <p>また、ハルサザンカの説明看板を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」 1,900 千円</li> <li>県指定天然記念物「戸石川のハルサザンカ」 590 千円</li> </ul>	2,490
常灯の鼻修復調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 336 頁】	<p>「史跡平戸和蘭商館跡」に位置する常灯の鼻は、経年劣化による破損が著しく、危険な状態であり、修復工事を行う必要があることから、整備委員会を県とともに開催した。</p>	630
和蘭商館関連施設発掘調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 336 頁】	<p>和蘭商館関連施設があったとされる、田平町横島で発掘調査を行い、現存する石垣の測量を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査事業 1,934 千円</li> <li>石垣測量委託事業 1,470 千円</li> <li>自然科学分析委託事業 197 千円</li> </ul>	3,602
世界遺産登録推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 336 頁】	<p>「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を目指し、学術会議や県市町調整会議へ出席するとともに、構成資産の価値証明に関する調査研究を実施した。</p> <p>また、県事業により、啓発普及事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産登録推進負担金 2,009 千円</li> <li>世界遺産登録に係る調査事業 5,945 千円 (賃金含む)</li> <li>事務事業 367 千円</li> </ul>	8,321

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,530		5,604	2,766	<p>選定地区内の 4 件を対象に屋根替え等の修理工事を行ったほか、便益施設 (休憩所) を 1 棟設置した。</p> <p>また、専門家や文化庁などを交えた文化的景観推進委員会を開催し、整備活用計画の検討を行った。</p>
210			2,280	<p>県指定文化財及び県指定天然記念物の保存継承が可能となった。</p>
			630	<p>国指定史跡地内の整備として、解体範囲や工法について文化的財的な判断と、今後の方向性を検討することができた。</p>
2,088			1,514	<p>リンバーンと呼ばれる航海用ロープ製作場の柱穴跡を確認するなど、商館関連の新たな資料を加えることができた。</p>
		18	8,303	<p>世界遺産推薦書や包括的保存管理計画の平戸地区にかかる修正作業を行ったほか、国や県など関係者と構成資産の現地確認を行うなど、ユネスコへの推薦書提出に向けた準備作業を行った。</p> <p>また、イコモス対策として、構成資産の価値証明について専門家と協議を行った。</p>

事業名	事業内容	事業費
民俗芸能公開事業 (文化交流課) 【事項別明細書 340 頁】	第7回ひらどツアーウォークにあわせて平戸民俗芸能祭を開催し、国指定重要無形民俗文化財「平戸のジャンガラ(中野地区)」、市指定無形民俗文化財「生月勇魚捕唄」「獅子の須古踊り」「的山流儀」の披露に加え、特別ゲストとして長崎市野母町より国選択無形民俗文化財「野母の盆踊り」を招いて、平戸文化センターに特設ステージを設けて行った。  民俗芸能祭 開催日 平成25年9月21日 出演団体 5団体(市内4団体、市外1団体)	1,179
文化公演開催事業 (文化交流課) 【事項別明細書 340 頁】	ながさき音楽祭2013コンサート5公演、次代を担う子どもの文化芸術体験事業【巡回事業、派遣事業】6公演、ひらんコンサートを開催した。 ・ながさき音楽祭2013コンサート 神浦伝建交流拠点施設、平戸オランダ商館、熊沢三郎記念館、平戸文化センター、福満寺(迎紐差町) ・次代を担う子どもの文化芸術体験事業 【巡回事業】 大島小、田平中 【派遣事業】 生月中、田平北小、津吉小、度島小中 ・ひらんコンサート 浄隆寺(上中津良町)	1,747
市民体育祭開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342 頁】 【事項別明細書 344 頁】	市民各層のスポーツ振興、普及発展及び競技力の向上を図り、併せて市民の健康と体力の保持増進を目指し市民体育祭を開催した。 競技部大会 (開催日) 平成25年9月1日～10月3日 (競技数) 18競技 (参加者) 1,997人 健康まつり (開催日) 平成25年10月6日 (開催地区) 3地区(北部、中部、南部) (参加者数) 1,246人	1,166
サバイバル体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	平戸市の資源である島を活用し、子ども達のたくましい身体と精神を育成するため、市内小学生4年生から6年生までを対象に平戸高島を舞台として野外体験学習を開催した。  開催日 平成25年7月24日～26日 場所 旧野子小中学校高島分校 参加者 31名	561

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,179	各民俗芸能保存会が一堂に会することで市民及び参加団体の交流及び保存・伝承活動の推進ができた。また平戸が誇る地域の優れた伝統文化として再認識することができた。 ・民俗芸能祭 入場者 450人
			1,747	各種コンサート、合唱、能、狂言など本物の舞台芸術に触れることができ、市民の文化芸術に対する感性が育まれた。 ・ながさき音楽祭2013コンサート 入場者 862人 ・次代を担う子どもの文化芸術体験事業 参加者 1,127人 ・ひらんコンサート 入場者 100人
			1,166	競技部大会については、県民体育大会の出場をかけた予選大会として開催することで、競技力が向上し、県民体育大会において、相撲競技団体優勝など、優秀な成績を納めることができた。 また、健康まつりについては、地域の実情に合わせ、ウォーキングやレクリエーション大会を行うことで、市民の健康増進と体力保持に寄与することができた。
			561	島の魅力を生かした様々な体験や共同生活を通して、心身ともに鍛錬することにより、参加した児童の健全育成に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
スポーツ推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	<p>①平戸ツーデーウォーク大会開催補助金 1,991 千円 開催日：平成 25 年 9 月 21 日～22 日 開催地区：平戸・田平地区（1 日目）、生月地区（2 日目） 参加者数：レギュラーコース 延べ 1,802 人 エコ・トレッキングコース 延べ 104 人</p> <p>②社会体育推進事業補助金 4,476 千円 健康で活力のある地域づくり及び各地域の生涯スポーツの推進のため、体育振興会へ補助金を交付した。 体育振興会 6 団体 4,476 千円</p> <p>③スポーツ推進事業補助金 3,641 千円 市民自らが健康で活力ある生活を目指して、スポーツの振興と競技力の向上を図るため、各スポーツ団体等へ補助金を交付した。 競技大会参加（九州大会等への参加） 30 件 1,755 千円 県民体育大会参加事業 2 件 1,886 千円</p> <p>④スポーツ少年団活動事業補助金 575 千円 少年スポーツを通して、健全育成及び競技力の向上に資する活動に対し、補助金を交付した。 団体育成事業 30 件 515 千円 スポーツ交流事業 2 件 60 千円</p> <p>⑤体育協会補助金 1,300 千円 本市における社会体育の普及・振興及び競技力向上を図るため、体育協会に対して助成した。 競技部 19 団体</p> <p>⑥平戸縦断駅伝大会開催事業 350 千円 駅伝を通して、陸上競技力の向上及び市民の健康づくりのため、第 44 回駅伝大会を体育協会に委託し開催した。 開催日：平成 26 年 1 月 20 日 コース：宮の浦～平戸文化センター 42.1Km 7 区間 参加数：一般（フリー）の部 9 チーム 一般（市内）の部 7 チーム 高校の部 8 チーム</p> <p>⑦県下一周駅伝大会参加補助金 230 千円 県下 42 区間を 3 日間で競う駅伝大会に、市陸上競技協会を中心とした平戸チームに補助金を交付した。</p>	16,739

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		3,647	13,092	<p>①誰でも気軽に参加できるウォークイベントを開催することで、健康増進の機運づくりに寄与できた。また、市外参加者に対するおもてなしを行うために集まった関係団体のボランティアスタッフ同士の交流により、活力のある地域づくりにも寄与できた。更には、映画のロケ地めぐりや九州オURRE認定コースなど新設したことで、参加者が増加した。</p> <p>②各地区の体育振興会へ補助金を交付することで、地域の特性に応じた生涯スポーツの推進による健康で活力のある地域づくりに寄与した。</p> <p>③県の大会等を勝ち抜き九州大会以上の競技参加に補助金を支援することで個々の競技力が向上した。併せて、県民体育大会の参加選手にも支援することで、参加しやすい環境整備を行い、各種スポーツの競技力が向上した。</p> <p>④少年スポーツ団体の活動に対し、補助金を交付することでスポーツによる健全育成の推進を図るとともに、本市スポーツの底辺拡大に寄与した。</p> <p>⑤体育協会に加盟する競技部の強化を行うため、協会へ補助金を交付することで、各競技部の競技力が向上し、県民体育大会等において、優秀な成績を収めることができた。 (県民体育大会成績) 優勝：〔団体〕相撲（成年） 〔個人〕相撲（成年） 水泳（一般女子 50m自由形） （50 歳以上男子 50m バタフライ） 準優勝：〔団体〕ソフトボール（壮年男子 SP） 〔個人〕相撲（成年） 水泳（50 歳以上男子 50m バタフライ） （50 歳以上男子 50m 平泳ぎ） （60 歳以上男子 50m 平泳ぎ） 空手（一般女子） 3 位：〔団体〕ソフトボール（一般男子 FP） サッカー（50 歳以上男子） 〔個人〕陸上（30 歳未満男子走り幅跳び） 水泳（一般女子 100m 自由形） 相撲（成年）</p> <p>⑥運営を体育協会に委託し、陸上競技の普及啓発、競技力の向上及び底辺拡大に寄与した。 優勝：一般の部（市内）：平戸市消防署 A 一般の部（フリー）：陸自大村 4 施大 高校の部：松浦高校 B</p> <p>⑦県下一周駅伝参加に対し補助金を交付することで、平戸チームの参加負担が軽減され、当日のレースに専念し、大会最長区間で区間賞を獲得することができた。 大会結果：男子総合 10 位（全 11 チーム中） 大会 3 日目 1 区区間賞獲得 女子総合 6 位（全 11 チーム中）</p>

事業名	事業内容	事業費
第69回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書344頁】	<p>実行委員会総会等、各種会議を開催した。また、本大会の準備としてリハーサル大会の開催や先催地視察や啓発活動を行った。</p> <p>【総会・委員会等】 平成25年4月24日：第3回常任委員会 平成25年5月10日：平戸市実行委員会第3回総会 平成26年2月：4専門委員会</p> <p>【リハーサル大会開催】</p> <p>①軟式野球：第35回西日本軟式野球大会2部 ・会期：平成25年6月29～7月1日 ・会場：赤坂野球場、生月町勤労者体育センター ・参加者：26チーム（うち平戸市11チーム）</p> <p>②相撲：第52回全国教職員相撲選手権大会 ・会期：平成25年8月25日 ・会場：平戸文化センター ・参加者：15チーム</p> <p>【先催地の視察・調査】 平成25年9月29～10月7日：東京都大島町ほか 第68回国民体育大会（相撲、軟式野球） その他、第68回国民体育大会事業概要説明会</p> <p>【啓発活動】 横断幕、看板設置、のぼり旗設置、市内イベントでの着ぐるみPR、フェイスブック更新等</p>	45,532
全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書346頁】	<p>実行委員会総会等、各種会議を開催した。また、平成25年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会・第91回全国高等学校相撲選手権大会を開催した。</p> <p>【総会・委員会等】 平成25年5月10日：平戸市実行委員会第3回総会 平成26年2月12日：平戸市実行委員会第4回総会 平成25年4月24日：第2回常任委員会</p> <p>【大会開催】 ・会期：平成25年8月2日～4日 ・会場：平戸文化センター ・参加者：85校参加、選手343名、監督85名、引率28名、計456名 ・競技・運営/役員・補助員：役員168名、補助員143名 ・観客数：延べ7,500名</p>	13,803
全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書346頁】	<p>本市高校相撲部の選手強化のため、遠征合宿・交流合宿等に係る費用の補助金を交付した。</p>	500

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,398			33,134	<p>関係機関・団体等との連絡調整を図りながら、本大会のリハーサル大会の開催や先催地の視察・調査（東京都）を行うことにより、具体的及び詳細な内容の把握ができ、本大会へ向けた円滑な運営の準備等の確認ができた。</p>
			13,803	<p>関係機関・団体等との連絡調整を図り、全国から集まった選手・監督・大会関係者を迎え、円滑な大会開催を実施することができ、大会を成功裡に終了することができた</p>
		500		<p>遠征合宿及び合同練習を行うことにより、選手の技術力が向上したものの、本市より出場選手を輩出するまで至らなかったが、九州大会、全国新人大大会出場及び国体強化選手指定を受けるなど選手強化につながった。</p>



事業名	事業内容	事業費
廃校跡地活用事業 (教育総務課) 【事項別明細書 346 頁】	学校統廃合に伴う旧校舎の活用策について、地元との協議会において模索してきたが、各地区共に協議が整ったので、協議結果をもとに施設整備を行った。 旧獅子小：旧校舎前グラウンド跡地を町民公園として整備 旧宝亀小：旧校舎前グラウンド跡地及び体育館周辺を駐車場として整備	14,816
学校給食設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 350 頁】	安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び厨房用機械器具の更新を行った。 食缶類洗浄機（北部） スプーン洗浄機付浸漬装置（中南部） 器具消毒保管機（北部） 蓄冷剤凍結庫（北部） 自動手指洗浄消毒器（度島） 冷凍庫（田平） 高圧開閉器（北部・生月）	19,905

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			14,816	地域住民の交流、憩いの場の拠点施設としての活用が見込まれる。
	18,900		1,005	各調理場において、作業の効率化と衛生面が大幅に改善し、児童生徒等に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。